

1) アンケート調査の結果について

予約制乗合タクシーの試行導入の検討にあたり、市民のニーズとの適合性を確認して試行導入決定の資料とするため、住民アンケート調査、バス利用者アンケート調査の2調査を行った。集計結果については、別添参考資料「アンケート調査結果」のとおりである。

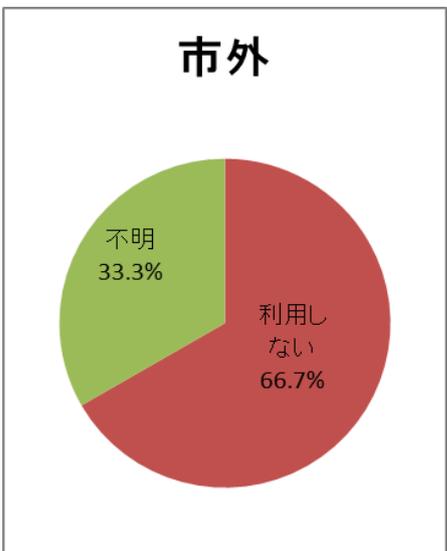
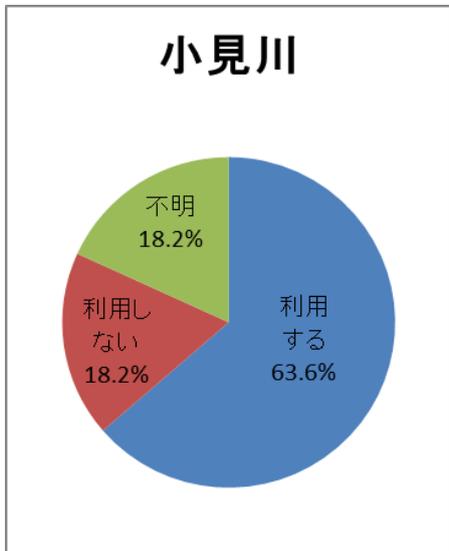
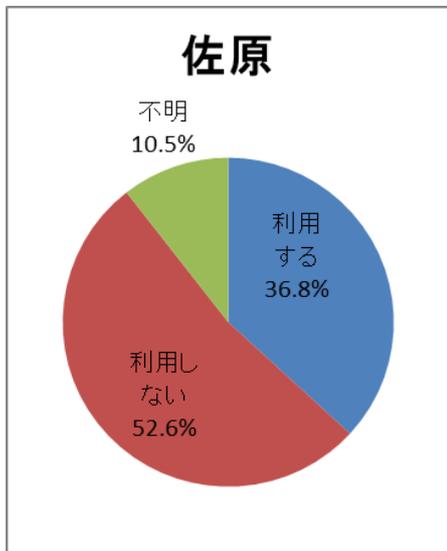
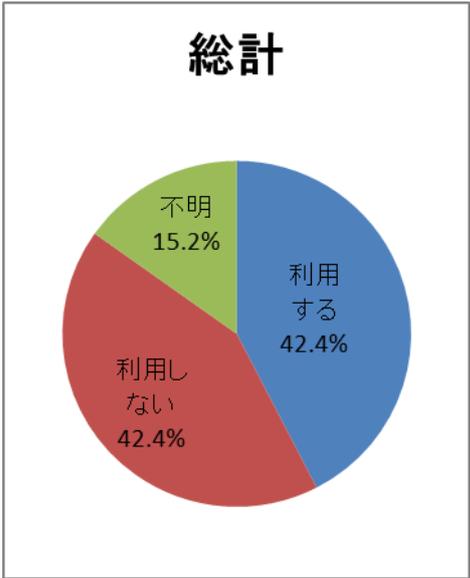
アンケート調査結果による市民の意向の分析

①交通弱者と推測されるもの（現行バス利用者）について

乗合タクシーの試行にあたっては、現在のバス利用者が円滑に移行することが重要であり、現在の利用者の意向を第一に検証する必要がある。

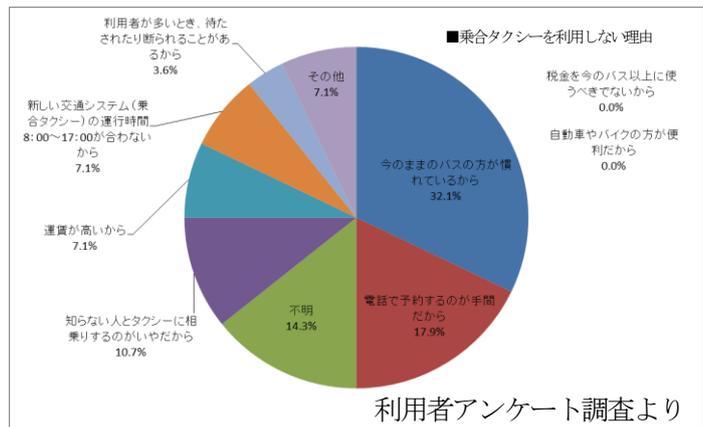
利用者アンケート調査の結果では、乗合タクシーが試行された場合、「利用する」としたものが42.4%、「利用しない」が42.4%と回答が分かれており、利用者の戸惑いを感じられる。

地域別では、佐原地区が乗合タクシーを「利用しない」が52.6%と過半を占めているのに対し、小見川地区では「利用する」が63.6%となっており、小見川地区の方が乗合タクシーの試行導入に積極的な回答が多かった。なお、市外に住所を有する利用者の回答が少数（3名）あったが、市内在住者に利用登録者が限定されることを予測していると見られ、「利用する」との回答はなかった。



乗合タクシーの試行がされた場合、「利用しない(42.4%)」との回答が、「利用しない(42.4%)」と同率で存在し、利用者の戸惑いが伺われたため、その理由を分析した。

「今のままのバスの方が慣れているから (32.1%)」が最も多く、次いで「電話で予約するのが手間だから (17.9%)」「不明 (14.3%)」の順となっており、理由の第3順位が「不明」になっていることから、現行バス利用者の戸惑いが感じられる結果となっているが、上位2位は「今のままのバスの方が慣れているから」「電話で予約するのが手間だから」であり、十分説明し慣れていただくことで対応することが可能と思われる回答が上位なので積極的に乗合タクシーの仕組みを否定する理由が多い訳ではない。なお、第4順位以下の理由はいずれも1ケタの率の回答となっている。

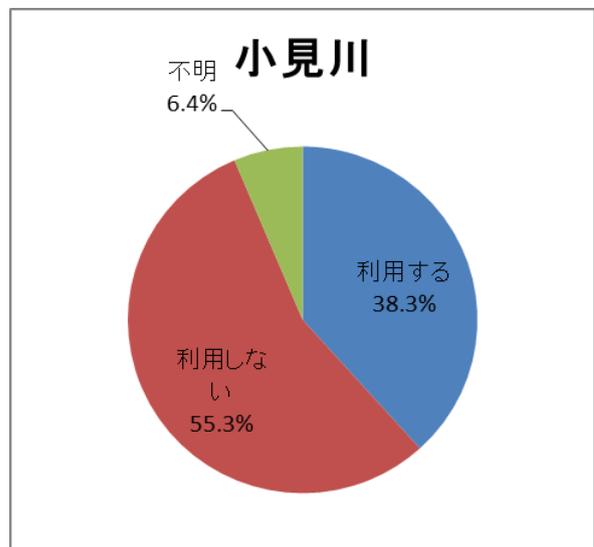
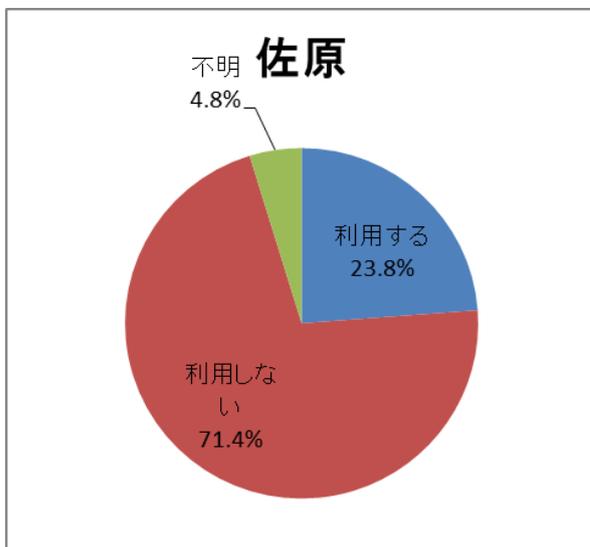
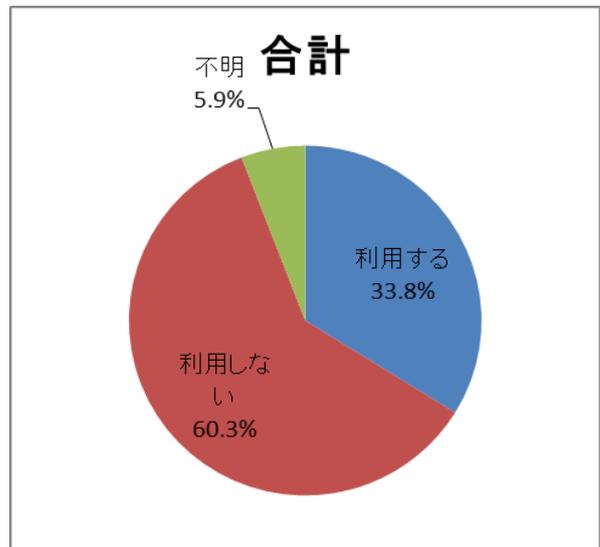


②潜在的交通弱者（現行バスを利用していない者で免許を保有しない者）について

現行バスを利用していない者の傾向については住民アンケート調査から分析することになるが、これは免許保有者などの自ら交通手段を持っている者を含む数値なので、真に公共交通を必要とするもの（交通弱者）の意向をクロス集計を用いて分析した。

免許非保有者でかつ現在はバスを利用していない者の乗合タクシー利用の意向は、「利用する」33.8%であり、乗合タクシーを試行導入した場合に新たに公共交通機関を利用する潜在的需要は高率に存在することがうかがわれた。

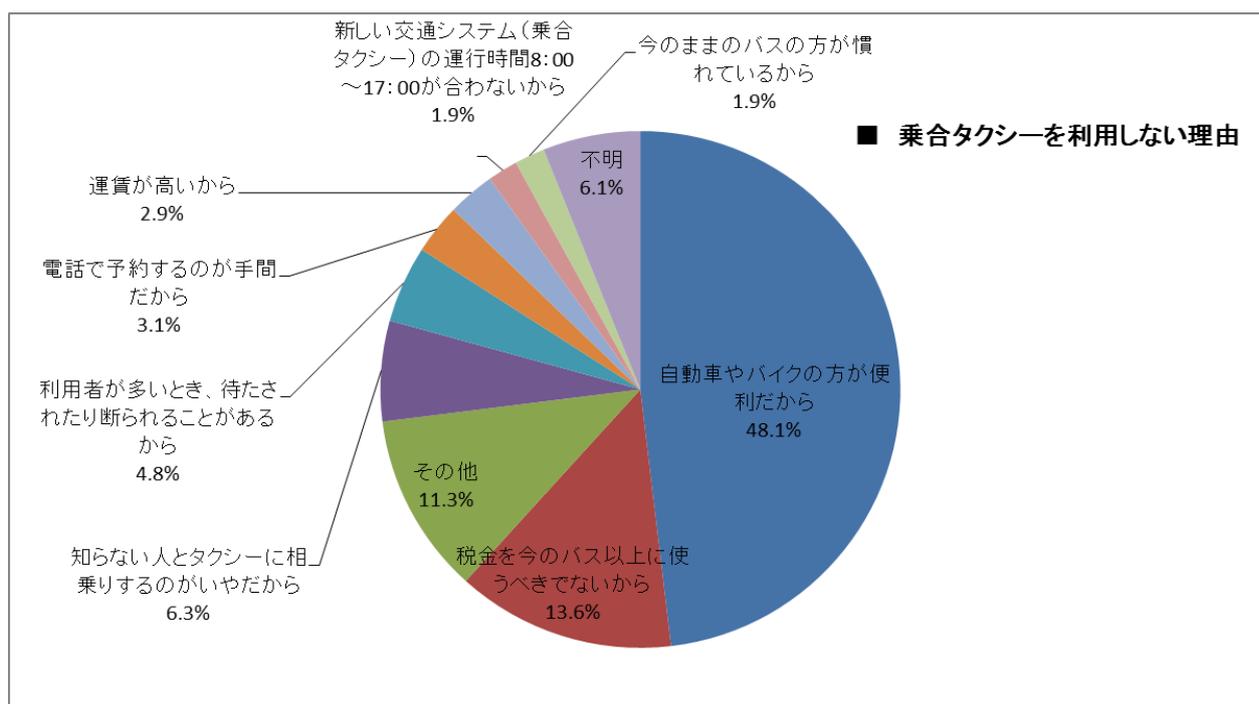
地域別では、佐原地区が「利用する」23.8%であるのに対し、小見川地区は「利用する」38.3%であり、小見川地区の方が乗合タクシー利用の潜在的需要が高いと推測される結果となっている。



住民アンケート調査より

③住民一般について

住民一般の傾向については住民アンケート調査から分析することになり、単純集計では、乗合タクシーを「利用する 23.1%」「利用しない 71.5%」となっているが、単純集計で免許保有者は 8 割弱となっており、これはある意味当然予測された結果となっている。利用しない理由の第 1 位が「自動車やバイクの方が便利だから (48.1%)」になっているのも当然と言える結果であるが、次ぐ理由が「税金を今のバス以上に使うべきでないから (13.6%)」になっており、税金のさらなる投入には厳しい目があった。なお、第 3 順位は並んで「その他 (11.3%)」となっているが、内容は「まだ自分で運転できるから」「身内で解決できるから」など自助の範囲で対応可能といった回答が多い一方で、「現在は利用しないが将来は利用したい」との回答も少なくなかった。自由意見の回答もあわせ、将来のデマンド交通導入への期待は少なくないものとなっている。



住民アンケート調査より

自由記載の回答抜粋（主なもの）

設問 4-3 乗合タクシーを利用しないと思う理由 「9. その他（自由記載）」	自由意見
<p>【自助の範囲内とするもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 元気な間は自分で行う ・ 身内で解決できるから。 ・ 今の所利用しないで良いから。 ・ 主人が元気で車を運転している間は。 ・ 電動自転車で行けるから。 ・ 現在の所マイカーで十分と思うため。 ・ 年齢は高くなっているが今の時点では自分は必要としないので(自分で車を運転するので)先のことは今の段階では答えられません。 ・ 病院、市役所、スーパー等、近い所なので自転車で行けるので利用しない。 ・ 現在運転できるから ・ 未だ現役で車の運転ができるのでデマンドタクシーを利用しないを選択した ・ 家族がいつでも乗せていってくれるから ・ 車があるから ・ 今は必要としていない <p>【将来の利用に肯定的なもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今現在は常に車を利用しているので必要ではないので利用しないが、今後、老いた時に車を使えなくなった場合は利用すると思う。 ・ 現在は利用しないが将来は利用したい。 ・ 将来車を運転できなくなったら乗合タクシーができたなら利用したい。 ・ 将来利用する時が来るかも ・ 将来利用するかもしれないが気を使うのが嫌いなため ・ 今は車を利用しているが車が乗れなくなれば利用するようになるかもわかりません。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ もっと別のことに税金を有効に使うべきだと思うから。 ・ ほとんど病院が予約なので。 ・ 足が痛いから歩けないためタクシーを利用する ・ 利用している施設で送迎していただけます 	<p>【試行導入に肯定的なもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の循環バスは震災で壊れた道路工事のため別ルートで運行されており、そのために利用者が少なくなっていると思います。しかし乗合タクシーの方が利用しやすいと思います。私も今は自分で運転していますが、いずれは利用させて頂くこととなるでしょう。よろしく願いいたします。 ・ 乗合タクシーは高齢者の足として良いものと考えます。試験的にでも数年間実施されることを望みます。 ・ 平日は仕事をしていて親（70歳以上）の送迎が困難なため、乗合タクシーの試行は是非導入してほしい。 ・ 現在は運転することができますが、年齢的に厳しくなるのは時間の問題です。雨の日に停留所で待つということのない様、タクシー制を早期に導入してください。 <p>【否定的なもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自家用車があるので利用しません。 ・ 個人の負担で充分だと思えます。 ・ 市の負担があまりの多い金額なのにビックリしました。 ・ 現在の循環バス利用については、特定の住民利用に留まっており、本当の意味での利便性、公共性からみると問題がある。いたずらに経費等を費やす利用状況と感じられる。乗合タクシーについての利用も同じような状況も想定されることから、車所有のない、特に老人世帯の実態調査を中心に行い、良い利用環境の創設をお願いしたい。効率的活用が可能であれば賛成します。 ・ 行先に向かう説明はあるが帰りの手段は説明がない。帰りも予約するのだろうが、病院等時間が読めないときはどうするのか？結局タクシーで帰るしか手段がない。一見便利に見えるが帰りの車を考えると使いづらいシステムである。

【アンケート調査結果のまとめ】

①交通弱者と推測される者（現在バスを利用している者）

- ・ 乗合タクシー利用の意向は二分
乗合タクシーを「利用する」としたものが42.4%、「利用しない」が42.4%
- ・ 積極的に乗合タクシーを否定するものは少数
「利用しない」とする理由の上位2位は「今のままのバスの方が慣れているから」「電話で予約するのが手間だから」
十分説明し慣れていただくことで対応することが可能と思われる回答が上位
- ・ 地域別では小見川地区の方が乗合タクシーの試行導入に積極的
佐原地区は乗合タクシーを「利用する」が36.8%
小見川地区は「利用する」が63.6%

②潜在的な交通弱者（免許非保有者でかつ現在はバスを利用していない者）

- ・ デマンド交通の潜在的需要は高率に存在
乗合タクシーを「利用する」としたものが33.8%
- ・ 地域別では、小見川地区の方が乗合タクシー利用の潜在的需要が高い
佐原地区は「利用する」23.8% 小見川地区は「利用する」38.3%

③住民一般

- ・ 税金のさらなる投入には厳しい目
乗合タクシーを利用しない理由で「税金を今のバス以上に使うべきでないから（13.6%）」が「自動車やバイクの方が便利だから（48.1%）」に次いで第2位
- ・ 将来のデマンド交通導入への期待は少なくない
「税金を今のバス以上に使うべきでないから（13.6%）」と並んで多い「その他（11.3%）」の内容は「まだ自分で運転できるから」「身内で解決できるから」など自助の範囲で対応可能といった回答が多い一方で、「現在は利用しないが将来は利用したい」との回答も少なくない。自由意見もあわせ、将来のデマンド交通導入への期待は少なくない。

2) デマンド交通の試行導入に係る運行計画の協議について

アンケート調査結果から求められる課題

①現行循環バス利用者の乗合タクシー移行への十分な配慮

現在の循環バス利用者には乗合タクシーへの移行に戸惑いがあると見られ、現在の利用者のスムーズな乗合タクシーへの移行が求められている。試行する場合は十分な説明等で段階的に理解を得ていく必要があり、潜在的需要の喚起も図りながらの、慎重な導入が求められている。

②乗合タクシー試行導入のコスト低減

住民一般からは税金のさらなる投入に厳しい目がある。試行する場合はコストを見直し、有用性と将来の持続可能性を検証しながら理解を得ていくことが求められている。

第11回協議会で提示した運行形態の案

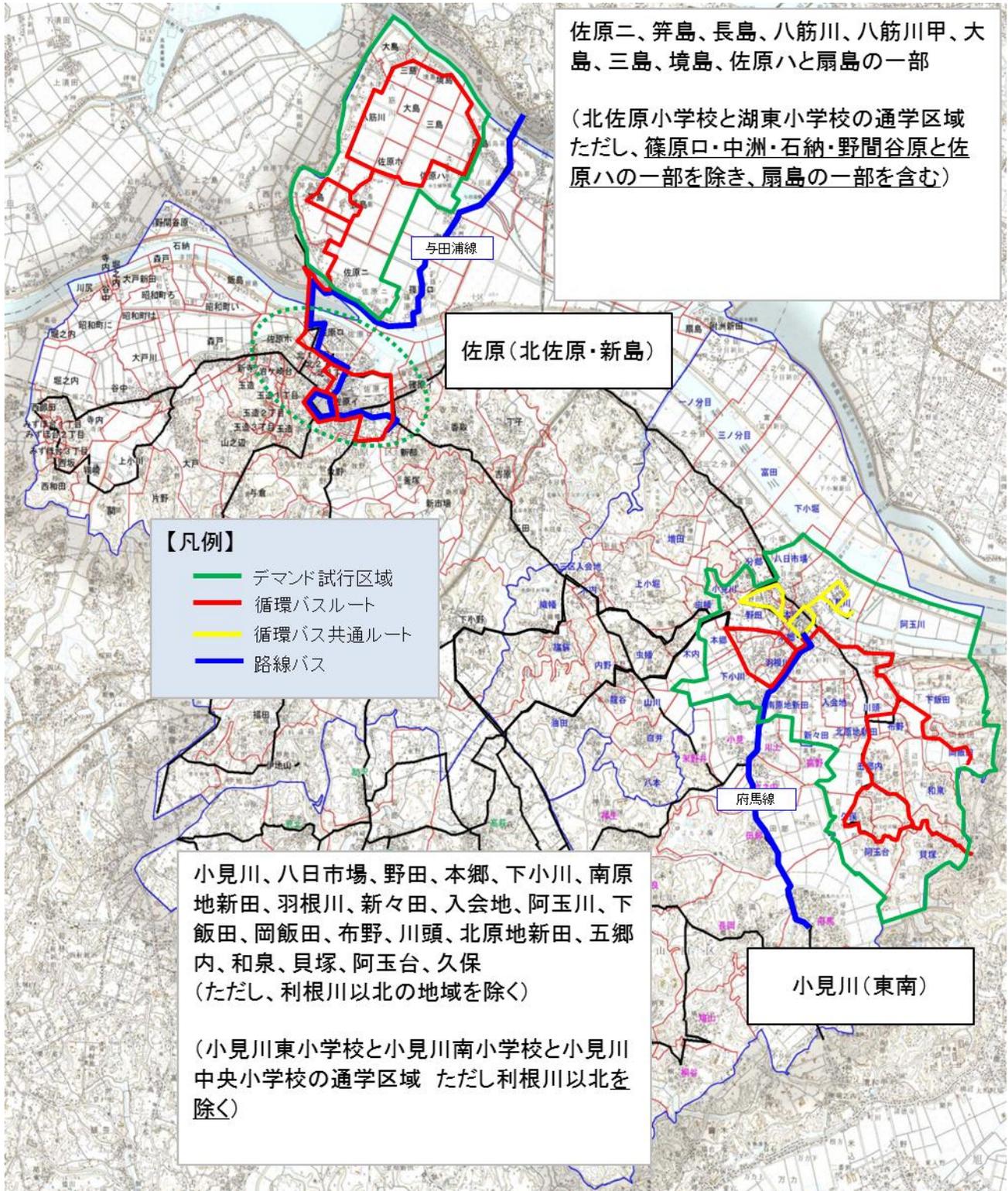
事業主体	香取市が実施（現在の循環バスと同一主体による運行）
運行区域	佐原（北佐原・新島ルート）のエリア （北佐原・湖東小学校の通学区域 ただし篠原口・中洲・石納・野間谷原と佐原ハの一部(県道 101 号潮来佐原線以東)を除き、扇島の一部(県道 101 号潮来佐原線以西)を含む) 小見川（東南ルート）のエリア （小見川東・南・中央小学校の通学区域 ただし利根川以北を除く）
乗降場所 （目的地）	ドア・ツー・ドア方式（ただし登録利用者の自宅以外は共通乗降場所を設定） 病院・医院や公共施設、大規模店舗等から選定
車両サイズ	セダン型タクシー 2台+2台=4台
運行日	平日のみ（現行の循環バスと同じ。）
運行時間帯	8:00～17:00
運行ダイヤ	1時間に1本の便設定
運賃	均一運賃（大人400円、中高生200円、小学生以下・障害者無料）+回数券 （現行の循環バス運賃300円より値上げ。ただし回数券を用意。）
利用者	香取市民限定+利用者事前登録
予約期限	当日1時間前までで、7:30～16:30の間
受付	ITシステムを導入。市臨時職員がオペレータ業務を実施。
運行契約	市内タクシー事業者に委託（佐原・小見川で1社ずつ）。 定額での車両借り上げ。プロポーザル等により業者選定。
試行期間	1年（状況に応じて試行の延長ありうる）

◆経費試算

運行委託料①	システム運用 保守委託料②	オペレータ業務 人件費③	運賃収入 見込み④	計 (①+②+③-④)
2,000万円	200万円	320万円	380万円	2,140万円

現行循環バス委託料と比較し、+740万円の負担増

なお、PRチラシや利用登録者カード作成費などの事務費は除く。
他にシステム導入費用が50万円（想定）かかる見込み。



アンケート調査結果を踏まえ、原案の修正の必要性等について
改めて協議